

発行 社会福祉法人陽風園 金沢市三口新町1丁目8番1号 ☎ (076) 263-7101

陽風語録

「寒いねえ…と話しかければ
寒いねえ…と言葉のかえるあたたかさ。」



奥理事長から、百歳の記念品を受ける小川ちよ子さん

あいさつ

理事長 奥 清

挨拶することの大切さについて、論語に「礼の用は和を貴しとなす」と示され、いつでもどこでもお互いの敬意や親愛の情を挨拶や態度で表わすことが人の倫であるとして教えてくれます。動物の社会でも、敵意や攻撃性のないことを挨拶や行動で表現し、お互いの関係を上手に保って生きている姿をよく見かけます。

挨拶の大切さを今更言うまでもありません。古人は挨拶の三原則として「いつでも笑顔で、明るく大きい声で、相手より先に挨拶し続けること」と教えてくれています。親としてわが子に、これからの社会を生きぬくため必須の習得マナーとして、挨拶の大切なことを幼い頃から躾けておかなければなりません。なのに最近では親子平等意識からでしょうか…「お父さんおハヨウゴザイマス・お母さんオヤスマシナサイ・おじいちゃんコンニチワ・おばあちゃんアリガトウゴザイマス…」など基本的な躾ができていなく無頓着で育てているように思われて残念です。

数秒間の挨拶一つでその人の人間的な力量まで測られるのです。挨拶は一度身につければ習慣となります。更にレベルの高い挨拶ができれば、身についた大きな財産となることを忘れてはなりません。私達の遠い祖先から伝えられてきたこの挨拶…いけば、お互いに、毎日暮していくための潤滑油とでもいった尊い働きをしているのです。

「陽風園を訪ねましたら職員の方皆さん明るく挨拶して暖かく迎えてくださる入園しやすく、用件もスムーズに済ませることができていい雰囲気ですね…」と、言われますように努めていきたいものです。毎日毎日の尊い累積行為が時折訪ねられます人に、即評価されるのです。凡事徹底、素直で謙虚な気持ちがあれば、自ずから挨拶ができて人間関係の調和が保たれていくのです。

安田隆明前理事長の発案により平成三年に創刊されました本誌（陽風園だより）も、今回で第50号の節目を迎えることができました。そこで、ここではその足跡を辿りながらこれまでの十数年を振り返ってみます。（当時の記事より抜粋）

○第1号（平成三年十一月）
就任に当たって

第九代理事長 安田 隆明

創始者小野翁の生誕百五十年、当園開設百二十年の意義ある年に当たり、図らずも理事長の重任を拜命致しました。

○第2号（平成四年五月）

小野太三郎翁生誕百五十年記念植樹

平成三年が、陽風園の園祖小野太三郎翁の生誕百五十年に当たることを記念して、11月18日現陽風園の正面中庭において記念植樹が行われました。

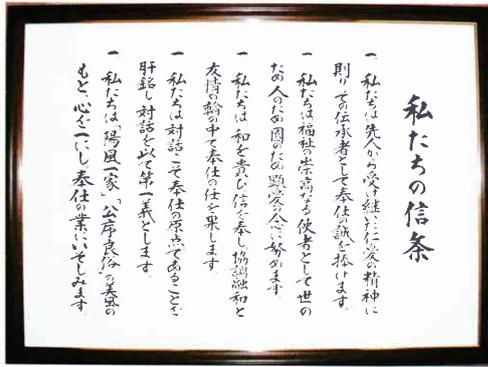


今日、その偉業の礎を踏襲する私

私たちは、園祖の思召しを教行こすれ、決して絶やすことなく長く保ち続けるとともに、そのレールに沿って歩を進めていかねばならないと再認識することでありました。

※平成五年五月五日

「私たちの信条」制定



○第5号（平成五年十一月）
第三万陽苑オープン

かねてから金沢市三小牛町に建設中でした第三万陽苑がようやく完成し、七月一日に正式にオープンすることができました。

第三万陽苑は、「陽風園整備計画」



の一環として、万陽苑入所者の生活環境を改善するとともに、在宅サービスの拡充によって地域福祉に貢献することを主目的に、昨年の六月から整備を進めてまいりました。

○第8号（平成七年五月）

「向井千秋さん」来園



日本人女性初の宇宙飛行士の向井千秋さんが十一月二十九日来園し、講堂を埋めたお年寄りに「日本人女

陽風語録

○第1号（平成三年十一月）

「陽風一家」その一
不思議な有縁のもと、職員、入所者ともに安位の一室なり

○第2号（平成四年五月）
歳月人を待たず

○第3号（平成四年十一月）
将来を語れ

○第4号（平成四年五月）
堪風雪 風雪に堪えた方々には、我々自らが風雪に堪えて対応しなくてはならない。

○第5号（平成五年十一月）
伝統とは改革の連続なり 改革は伝統を維持継承するためのものであり、改革を失すれば伝統もあり得ない。

○第6号（平成六年五月）
清貧は人生の財なり 貧しき者には富への向上心があり 富める者には欠ける心の緩みがあるてはならない。

○第7号（平成六年十一月）
職場こそ聖にして母なる宇宙 女性宇宙飛行士向井千秋さんとの対話から思うこと

○第8号（平成七年五月）
生むことは難し これを育てること

は更に至難な業なり

○第9号（平成七年十一月）
喋る口より聞く耳を持つべし

○第10号（平成八年五月）
惜しまれて去るは幸せにして羨ましき限りなり

○第11号（平成八年十一月）
敗戦により古き良き道徳論を手離す

性が宇宙に行ける素晴らしい世の中が来たのは、皆さんが日本や世界に貢献してくれたお陰です」とやさしく語りかけました。

○第9号(平成七年十一月)
ハビリポート若葉オープン

かねてより構想がねられ、金沢市別所町に建設中でしたハビリポート若葉がようやく完成し十月十二日に正式にオープンすることができました。



戦後五十年記念事業

昭和二十年八月十五日の終戦以来五十年が経過し、月日の流れと共に世代の人々は戦争の悲劇を忘却の彼方に押し流されつつありますが、当世代に生きる我々には終生忘れない意義深き年であります。先の戦争と有縁ある人園者と生活を共にする職員一同と越し方半世紀を回顧すると

ともに、園の悠久を祈念することを目的に企画しました。
タイムカプセル埋設



平成七年七月七日、七が三つ並ぶ記念すべき日に、「後世の使者に託す小包」として、当園納骨堂庭園にてタイムカプセルを埋設しました。

○第10号(平成八年五月)
大規模改修工事完成

園の整備基本計画(平成三年六月議決)は、このたび、大規模改修工事をもって、総事業費五十五億四千万円、四年八か月の短期間で一応完了いたしました。

整備計画案では、特養の百三十人及び若葉ホームを園外に建設した後は、その空き施設を順次建て替え案と改築案がありました。何分、人には寿命がある如く、建物にも耐用年数があり、対象施設は、築後三十年余しか経過しておらず、加えて、



補助物件でもあったので、大規模改修工事といたしました。

○第11号(平成八年十一月)
天皇、皇后両陛下 行幸啓

去る九月十八日、天皇、皇后両陛下には、過密な御来県御日程の中から当園御視察の光栄に浴しました。千載一遇の光栄であり、恐耀の極みでもありました。役員、家族会、



に至る。今の世代でこれを取り戻すべき也。

○第12号(平成九年五月)
福祉に職を奉ずるは 日々これ福祉遺産の構築なり

○第13号(平成九年十一月)
心修めざれば 福祉これがため憂う

○第14号(平成十年六月)
情性こそ恐れ 勳章に学ぶ

○第15号(平成十年十二月)
「私の仕事場は、宇宙」「私の仕事場は、施設」向井飛行士も施設の人もその心には変りはないはずである。

○第16号(平成十一年六月)
羽根の運動とは心を耕し、心の中に心を植える事でもある。

○第17号(平成十一年十二月)
台風は日本列島に災いという甚大な爪痕を遺した。これ天の為せる業なり 介護保険制度は日本列島に論風を起し 不安と共に幸せを後世に遺すこととしている。これ人の為せる業なり 賢業は賢人より生れ、施設の人こそ賢人と自負すべきである。

○第18号(平成十二年六月)
施設の任は崇高にして、職域に在る者は「福祉の防人」でもある

○第19号(平成十二年九月)
心田を耕す 「一夫耕さざれば 民これがため飢ゆ」

○第20号(平成十二年十二月)
「一日一生」、生涯の原点である

○第21号(平成十三年三月)
福祉行政とは、総合行政である。これに対応するためには、施設の運営

関係者一同奉迎申し上げる中から、両陛下には入園者（ハビリポート若葉）の作業訓練等を御視察のうえ、親しくお励ましとお慰めの心温かい数々のお言葉を賜りました。感動の極みでもありました。

○第12号（平成九年五月）
簡易郵便局開局

陽風園の中に簡易郵便局が開局しました。その名も「金沢三口新町簡易郵便局」といい、同じ名称で当園



に隣接して営業していた簡易局が昨秋に閉局していたものを、当園が引き継ぐ形で開局することになりました。

○第15号（平成十年十二月）
創立百二十五周年記念事業

創立百二十五周年の意義ある記念事業も、無事、終了することができました。厚生省、県、市等行政当局

をはじめ、関係諸団体、各界、各方面にわたる関係諸賢のご来臨、ご高配の賜であり、先ず心から感謝し、御礼申し上げます。



百二十五周年の慶節と新しく試練の時代への対応と心得ながら精進致したく、重ねて各方面のご協力に感謝し、今後一層のご支援をお願い申し上げます、事業を終えての御礼の言葉に代えさせていただきます。

○第18号（平成十二年六月）
第二万陽苑増改築工事竣工

金沢市大桑町にあります第二万陽苑では、昨年十月より増改築の工事を行ってまいりましたが、今年三月二十四日に無事完成することができました。

今後、益々増えるであろう福祉のニーズに迅速に対応できるよう、ハードとソフトをバランスよく融合さ

せ、利用者の方々に良質のサービスを提供できるよう努める所存であります。



○第20号（平成十二年十二月）
災害時相互応援訓練

訓練は、八月二十一日に、金沢市を中心とした震度六強の直下型地震が発生し、多数の死傷者が出たため、当園特養広場へ避難したという想定



で行われました。

これは、崎浦地区町会連合会と当園が先に締結した「災害時相互応援

は多面的機能を具備せなくてはならない。

○第22号（平成十三年六月）

幸せとは 心耕による開花でもある。

○第23号（平成十三年九月）

実行することこそ福祉の教典である。

○第24号（平成十三年十二月）

天災は天を怒れる 人災は人を憎む 天災も人災も被災者を生む。福祉とは、不幸な被災者と共生する天の声、人の道でもある。共生のある処には幸せがある

○第25号（平成十四年三月）

構造改革とは、失われつつある心を取り戻し、心の遺産を構築することでもある。

○第26号（平成十四年六月）

ふる里を愛する心は、家庭を大切に、その心は国を愛する心でもある。

○第27号（平成十四年九月）

聞きなさい 話なさい これが福祉の原点でもある

○第28号（平成十四年十二月）

行政改革は、痛みを加速して道達し心の構造改革は、幸せを加速して人々の常道 心あつての財でもある

○第29号（平成十五年三月）

美しく川の流れば変わるとも その源流は今も変わることなし 星霜百三十年 園の姿は変わるとも 奉仕の源流は、今も箱の心と変わることなし。

○第30号（平成十五年六月）

森の都金沢という 都に森を、森に都を、何れかは知らない 施設とは、

協定」に基づき、大地震発生初動時において町会連合（七町会）と当園が相互に一致協力し、救援・救護対策を実施するとともに、「災害に強いまちづくり」を推進していくことを目的として実施されたものです。

○第26号（平成十四年八月）
陽風園金沢南生活支援センター開設



陽風園では、平成十四年五月一日から金沢市南部地区の伏見台に、介護保険の居宅介護支援事業者として新たに、陽風園金沢南生活支援センターを開設致しました。開設にあたっては、地域の方々をはじめ多数の皆様のご理解とご協力を頂きまして本当にありがとうございました。

○第28号（平成十四年十二月）
寺門邦次氏・神田 紅氏 敬老の日記念講演

毎年の恒例行事の一つである敬老の日記念行事に日本宇宙フォーラム

常務理事の寺門邦次氏と講師として著名な神田紅氏にお越しいただきました。



○第31号（平成十五年九月）
創立百三十周年の記念式典

創立百三十周年の記念式典も無事終了することができました。知事、市長をはじめ多数のご来賓のご臨席を頂き、清楚ながらも意義深い式典でもありました。計画に、執行にご協力を頂いた職員一同の真摯なご協力によるものであり、感謝の極みでもあります。凡そ、福祉施設にして百三十周年の慶節を迎えるのは、斯界においては稀有なことであり、園にとつては園史の一頁を画する記念事業だけに、その意義は重く、この責を果たす私共の使命もまた重しと申すべきでありましょう。幸い、職員一同の共有の課題として、その責を果たすことができました。幸甚の限りであります。



○第33号（平成十六年三月）

祈平安 く千羽鶴に祈りを込めて、二月十八日、イラクへ復興支援のため派遣されている自衛隊の方々が、無事帰国することを祈願して千羽鶴を航空自衛隊小松基地及び陸上自衛隊金沢駐屯地に届けました。



都（ハード）と森（ソフト）が同時に生まれ育った美しい園でもある

○第31号（平成十五年九月）

「園の創設は明治六年」「広坂県庁府の置業は明治六年」その源流を辿れば、時を共にし、行政と福祉とはその原点においても変わることなし

○第32号（平成十五年十二月）

父母なき人はなし、その親心に尽くすは人倫の大義なり

○第33号（平成十六年三月）

大自然に学ぶこと多し季節は人生の師でもある

○第34号（平成十六年六月）

拉致の子ら父母のもとに帰る、心の帰国であることを祈る、子のために

○第35号（平成十六年九月）

戦争経験者（高齢者）こそ真の平和主義者でもある

○第36号（平成十六年十二月）

天災を呪い人災を憎む、我々は、常に被災者の家族の一人であることを自戒する施設の人でもある

○第37号（平成十七年三月）

罹災地へ帰る心配は大きい、しかし、帰ることのよるこびはより大きな幸せでもある

○第38号（平成十七年六月）

JR西日本の惨事、運転手一人のために社内体制を問う、その原点に反省を：

○第39号（平成十七年九月）

知床の世界遺産をよるこび死の遺産

○第36号（平成十六年十二月）
みずき保育園、陽風園木越デイサービスセンター起工

平成十六年七月二十八日、金沢市みずき四丁目一番地において、みずき保育園“建設工事起工式を、平成十六年九月一日、金沢市木越町チ六十番地一において、陽風園木越デイサービスセンター“建設工事起工式を執り行い、現在、双方とも順調に工事が進んでおります。

○第38号（平成十七年六月）
みずき保育園及び陽風園木越デイサービスセンター竣工式

平成十七年二月二十五日に、みずき保育園、陽風園木越デイサービスセンター及び陽風園木越生活支援センターの竣工式を執り行いました。当日は雪がちらつく寒い天気となりましたが、金沢市長をはじめ関係各



界から約八十名の方々にご参列をいただき盛大に行う事ができました。施設を二か所移動しながらの慌しい竣工式であり、ご参列頂きました皆様方にはご足労をおかけしましたが、種別を異にする二か所の施設が同時にオープンすることにこそ意義を感じます。

○第45号（平成十九年三月）
節分祭

今年も、ご来賓として金城大学短期大学部丹羽俊夫教授をお招きし、例年通り、園講堂で安田理事長と利用者の方、男女、年女の代表者十六名により盛大に豆まきを行いました。



○第46号（平成十九年六月）
能登半島地震被災者支援に参加して

三月二十五日朝発生した能登半島地震は震度6強を観測し、能登を中心に各地で民家が倒壊し、死傷者は

一五〇人を越えたと言います。避難所の高齢者に対する介護職員の派遣協力のため四月四日から六日までの三日間の派遣に参加してきました。

○第49号（平成二〇年三月）
土井宇宙飛行士に千羽鶴

三月に打ち上げた米スペースシャトルに搭乗した土井宇宙飛行士に、金沢市東京事務所長を通して千羽鶴を贈呈しました。



就任ご挨拶

第十代理事長 奥 清

社会福祉法人陽風園の理事長に就任いたしました。先ず、園祖小野太三郎さんの墓前に額すぎ、心引き締る思いとともに、在りし日の人となりを感じました。

私も、太三郎さんのお心を肝に銘じ、誠実にお勤めしますと手を合せて第一歩を踏み出しました。

（ポーランド）を悲しむ 世に未だ福祉遺産なし 何故だろうか

○第40号（平成十七年十二月）
窮すれば通するではなく理解すれば道自ずから通し これが改革の道義でもある

○第41号（平成十八年三月）
越冬に先人の智慧を学ぶ

○第42号（平成十八年六月）
行政とは福祉の総てである（山出市長）議会答弁より

○第43号（平成十八年九月）
感動は人を呼び 人自ら集まる

○第44号（平成十八年十二月）
師走の落葉は新緑、開花への衣替えである。落葉は語らずとも世の乱れを正す心の衣替えを教諭している今の世である。心の衣替えを行えば自ら開花のよろこびがいつて来る。

○第45号（平成十九年三月）
家庭を大切にしている心はふる里を愛しその心は国を愛する心でもある

○第46号（平成十九年六月）
消費は美德なり（中曽根内閣）
勤儉貯蓄は資源なき日本の美德なり（安倍内閣）

○第48号（平成十九年十二月）
笑顔がある所には幸せがあり、飛鶴がある

○第49号（平成二十年三月）
子供叱るな来た道だもの
年寄大事に行く道だもの
来た道 行く道 二人旅
通りなおしのできぬ道

陽風園日記

2月

節分祭 (陽風園・各施設)
交通安全チヨコつとアドバイス

誕生会・喫茶 (各施設)
卓上献立 (万陽・第二万)

ゲーム大会 (万陽万陽デイ第三万第三万デイ三陽)

料理教室 (向陽苑)
家族介護者教室 (万陽デイ)

菊川・大桑団地・十屋地区・浦崎
つじが丘健康づくり教室

(地域福祉支援センター)
生き生き健康支援 (第三万デイ)

作業収益還元旅行 (三陽ホーム)
節分カラオケ大会

(ハビリポート若葉)
表現会・保育参観・入園説明会

紙芝居ボランティア(みずき保育園)
かき餅作り (木越デイ)

3月

理事会・評議員会
すみれ会演芸ボランティア

美容ボランティア (陽風園)
誕生会・喫茶 (各施設)

シヨッピング (特養三施設)
卓上献立 (向陽・万陽)

茶話会 (万陽デイ・若葉)
ゲーム大会 (向陽苑)

菊川・大桑団地・十屋地区・崎浦
つじが丘・内川健康づくり教室

(地域福祉支援センター)

ひまわりカットボランティア
デザートバイキング (第二万陽苑)

二水高等学校吹奏楽部訪問 (第三万陽苑)
作業収益還元旅行 (三陽ホーム)

作業懇談会 (あけぼの作業所)
保育参観・餅つき・ひな祭り会

お別れ会・卒園式(みずき保育園)
カラオケ二直線 (木越デイ)

4月

職員辞令交付・初任職員研修
物故者追悼法要

定期健康診断
胡蝶会新舞踊ボランティア(陽風園)

誕生会・喫茶 (各施設)
花見・花見ドライブ

シヨッピング (特養三施設)
卓上献立 (万陽苑)

家族介護者教室 (万陽デイ)
菊川・大桑団地・十屋地区・崎浦

つじが丘健康づくり教室
(地域福祉支援センター)

ひまわりカットボランティア (第二万陽苑)
ティータイム懇談会

(ハビリポート若葉)
入園式・進級式 (みずき保育園)

健康教室「高血圧予防の減塩食」
手作りおやつ (木越デイ)

入園者の変動状況 (2月~4月)

施設名	入園者数 (5月1日現在)	入所	退所
向陽苑	240	7	10
万陽苑	189	26	24
第二万陽苑	145	23	24
第三万陽苑	148	17	14
三陽ホーム	106	0	0
ハビリポート若葉	207	0	2
あけぼの作業所	39	0	1
みずき保育園	174	31	39
診療所	14	16	16
合計	1,262	120	130

在宅サービス利用状況 (2月~4月)

施設名	事業	延人数
万陽苑	シヨートステイ	305
	デイサービス	880
	ホームヘルプサービス	262
	配食サービス	486
	移送入浴サービス	43
	居宅介護支援事業	517
お年寄り地域福祉支援センター	予防プラン	889
	介護相談	318
木越	デイサービス	751
	居宅介護支援事業	88
第二万陽苑	シヨートステイ	230
	ホームヘルプサービス	234
	居宅介護支援事業	130
金沢南	居宅介護支援事業	176
第三万陽苑	シヨートステイ	705
	デイサービス	752
	居宅介護支援事業	190
ハビリポート若葉	シヨートステイ	22
	日中一時支援事業	4

ふれあいのまちづくり事業活動

講師派遣日数			
2月	3月	4月	計
1	0	0	1

感謝録

2月～4月

(順不同・敬称略)

ボランティア

すみれ会

(金沢市)

胡蝶会

(金沢市)

カトレアの会

(金沢市)

小西グループ

(白山市)

ひだまりグループ

(金沢市)

ひまはりの会

(金沢市)

葉月の会

(金沢市)

合歓の会

(金沢市)

三色すみれの会

(金沢市)

新畑 光文 (金沢市)

安岡 龍男 (金沢市)

勝尾外美子 (金沢市)

中村 優 (白山市)

朝倉 晴江 (野々市町)

大草 亮 (内灘町)

川畑 翔史 (愛知県)

北村由美子 (金沢市)

村尾 和子 (金沢市)

高窪千寿子 (金沢市)

朝倉 薫 (金沢市)

小川浩太郎 (金沢市)

塩崎 綾子 (金沢市)

山内 淳史 (金沢市)

寄附物品の部

弥生ボランティア

(金沢市)

(株)加賀麩司宮田

(金沢市)

多賀商店

(金沢市)

(株)麩中

(金沢市)

不室屋

(金沢市)

中田 浩二 (金沢市)

西村 忠義 (金沢市)

中谷 一男 (金沢市)

谷 一則 (金沢市)

永井五十鈴 (能美市)

奥 清 (金沢市)

法村 龍夫 (金沢市)

三田村芳江 (白山市)

千田 静子 (金沢市)

寄附金の部

あけぼの作業所保護者会

(金沢市)

崎浦ボランティアの会

(金沢市)

(株)福祉施設共済会

一丸 菊男 (津幡町)

北出 キヨ (金沢市)

宮野 順子 (野々市町)

西嶋外喜子 (金沢市)

中谷 一男 (金沢市)

田中 千尋 (金沢市)

飯田 實 (金沢市)

小野 陽子 (金沢市)

下田 忠夫 (横浜市)

浅田

その他匿名 三十六名

ご厚意ありがとうございました。



社会福祉法人 陽風園

平成19年度 事業報告及び決算状況

平成19年4月1日から平成20年3月31日までの期間における園の事業実績並びに重要事項を、次のとおり報告いたします。

1 事業の変更等

- (1) 陽風園金沢南生活支援センターは、平成20年3月31日をもって閉所し、その機能を陽風園の各居宅介護支援事業へ統合しました。
- (2) 日本財団の福祉車両助成により、万陽苑に車いす対応車（軽自動車）を配備しました。

2 福祉サービス向上への取り組み

- (1) 社会福祉事業の目的に従い、福祉サービス利用者の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるように支援することと、地域における社会福祉の推進を図るため、各々の施設において、事業計画の基本方針に基づき、利用者個々の心身及び生活の状態、又は地域のニーズに即したサービスの実施に努めました。
- (2) 生活環境の整備として、向陽苑の外壁を改修しました。万陽苑のトイレを車いすで利用しやすく広くしました。第二万陽苑のトイレを車いすで利用しやすく改修しました。三陽ホームの作業場のトイレを改修したほか利用者用トイレにナースコールを設置し、安全に配慮した環境を整えました。あけぼの作業所の外壁を改修しました。
- (3) 三陽ホーム、ハビリポート若葉、あけぼの作業所において、適切な作業指導・支援を行いました。

3 在宅福祉サービスへの取り組み

(1) 在宅サービス及び施設機能の提供

- | | |
|-------------------|---------------|
| ア 短期入所サービス | カ 居宅介護支援事業 |
| イ 老人デイサービス | キ 生活援助員の派遣 |
| ウ 移送入浴サービス、配食サービス | ク 子育て支援・世代間交流 |
| エ 在宅者の福祉相談援助 | ケ 地域生活の援助 |
| オ 訪問介護サービス | コ 地域福祉の推進援助 |

(2) 施設の開放

- ア 地域の町内会等への場所提供
- イ 地域交流・行事への参加よびかけ
- ウ ボランティア・実習生の受け入れ

4 防災への取り組み

災害時相互応援協定に基づき、崎浦地区自主防災訓練に参加しました。

5 職員の資質向上への取り組み

各種資格取得にむけ必要な援助を行いました。

貸借対照表
平成20年3月31日現在

社会福祉事業会計

(単位：円)

勘定科目	資産の部	金額	勘定科目	負債の部	金額
流動資産		2,277,830,495	流動負債		319,374,180
現金預金		1,304,428,747	短期運営資金借入金		48,280,338
有価証券		497,986,982	未払金		159,368,769
未収金		419,863,198	預り金		19,147,573
立替金		839,385	前受金		288,500
前払金		5,272,497	賞与引当金		92,289,000
短期貸付金		49,360,031	固定負債		557,278,507
その他の流動資産		79,655	設備資金借入金		549,170,000
固定資産		7,527,516,207	退職給与引当金		8,108,507
基本財産		6,373,264,714	負債の部合計		876,652,687
建物		5,210,891,306	純資産の部		
土地		1,162,373,408	基本金		1,844,467,399
その他の固定資産		1,154,251,493	国庫補助金等特別積立金		2,150,109,565
建物		97,566,641	その他の積立金		849,526,230
構築物		8,593,560	人件費積立金		44,916,000
機械及び措置		10,421,585	修繕積立金		45,990,000
車輜運搬具		27,679,554	移行時特別積立金		294,018,230
器具及び備品		149,853,391	施設整備等積立金		464,602,000
権利		310,532	次期繰越活動収支差額		4,084,590,821
収益事業会計元入金		5,000,000	次期繰越活動収支差額		4,084,590,821
措置費施設繰越特定預金		347,518,000	(うち当期繰越活動収支差額)		158,533,317
移行時特別積立預金		294,018,230	純資産の部合計		8,928,694,015
その他の積立預金		207,990,000	負債及び純資産の部合計		9,805,346,702
その他の固定資産		5,300,000			
資産の部合計		9,805,346,702			

事業活動収支計算書

(自) 平成19年4月1日 (至) 平成20年3月31日
社会福祉事業会計 (単位：円)

勘定科目	金額
授産事業活動収入	21,401,839
授産事業活動支出	21,401,839
授産事業活動収支差額	0
事業活動収入	3,942,298,108
事業活動支出	3,718,681,063
事業活動収支差額	223,617,045
事業活動外収入	96,029,399
事業活動外支出	89,387,561
事業活動外収支差額	6,641,838
経常収支差額	230,258,883
特別収支	920,000
特別支出	1,645,566
特別収支差額	△ 725,566
当期活動収支差額	229,533,317
前期繰越活動収支差額	3,926,057,504
当期末繰越活動収支差額	4,155,590,821
その他の積立金取崩額	0
その他の積立金積立額	71,000,000
次期繰越活動収支差額	4,084,590,821

資金収支計算書

(自) 平成19年4月1日 (至) 平成20年3月31日

勘定科目	金額
授産事業活動収入	21,401,839
授産事業活動支出	21,401,839
授産事業活動収支差額	0
経常収入	3,760,977,624
経常支出	3,440,635,189
経常活動資金収支差額	320,342,435
施設整備等収入	920,000
施設整備等支出	92,742,928
施設整備等資金収支差額	△ 91,822,928
財務収入	66,228,000
財務支出	165,950,000
財務活動資金収支差額	△ 99,722,000
当期資金収支差額合計	128,797,507
前期未支払資金残高	1,921,947,808
当期末支払資金残高	2,050,745,315

貸借対照表
平成20年3月31日現在

陽風園診療所

(単位：円)

勘定科目の部	金額	勘定科目の部	金額
流動資産	88,652,009	流動負債	19,321,238
現金預金	50,122,187	本部会計借入金	1,059,016
未収金	32,916,629	未払金	18,128,416
貯蔵品	5,613,193	預り金	133,806
		負債の部合計	19,321,238
		純資産の部	
固定資産	30,606,289	基金	5,271,289
固定資産物品	5,271,289	積立金	25,335,000
その他の固定資産	25,335,000	繰越金	69,330,771
		前期繰越金	86,381,752
		当期繰越金	△ 17,050,981
資産の部合計	119,258,298	純資産の部合計	99,937,060
		負債及び純資産の部合計	119,258,298

貸借対照表

平成20年3月31日現在

三口新町簡易郵便局

(単位：円)

勘定科目の部	金額	勘定科目の部	金額
流動資産	7,174,033	流動負債	832,012
小口現金	30,000	短期借入金	20,677
貯金	5,222,730	未払金	797,300
切手	1,364,843	預り金	14,035
未収金	556,460	負債の部合計	832,012
		純資産の部	
		元入金	5000,000
		繰越金	1,342,021
		前期繰越金	727,403
		当期繰越金	614,618
資産の部合計	7,174,033	純資産の部合計	6,342,021
		負債及び純資産の部合計	7,174,033

収支計算書

(自) 平成19年4月1日

(至) 平成20年3月31日

陽風園診療所

(単位：円)

勘定科目	金額
医業収入	188,555,924
医業外収入	1,147,797
寄付金収入	40,000
収入合計	189,743,721
医業費	195,870,327
一般経費	10,924,375
支出合計	206,794,702
当期繰越金	△ 17,050,981

収支計算書

(自) 平成19年4月1日

(至) 平成20年3月31日

三口新町簡易郵便局

(単位：円)

勘定科目	金額
郵便局手数料	8,291,543
切手類販売手数料	475,542
雑収入	66,079
収入合計	8,833,164
人件費支出	6,865,834
事務費支出	752,712
繰入金支出	600,000
支出合計	8,218,546
当期繰越金	614,618

財産目録

平成20年3月31日現在

社会福祉法人 陽風園

(単位：円)

資産・負債の内訳		金額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	北國銀行 外	1,359,803,664
有価証券	国債 外	497,986,982
未収金	3月分介護報酬 外	452,736,287
貯蔵品	アスパラK 外	6,978,036
立替金	職員給与欠勤分	839,385
前払金	施設総合損害補償保険料 外	5,272,497
その他の流動資産	図書券 外	79,655
	流動資産合計	2,323,696,506
2 固定資産		
(1) 基本財産		
建物		5,210,891,306
土地		1,162,373,408
	基本財産合計	6,373,264,714
(2) その他の固定資産		
建物	温室 外	97,566,641
構築物	胸像 外	8,593,560
機械及び装置	電動型昇降浴槽 外	10,421,585
車輛運搬具	自動車 外	27,679,554
器具及び備品	パソコン 外	155,124,680
権利	電話回線権	310,532
収益事業会計元入金	三口新町簡易郵便局元入金	5,000,000
措置費施設繰越特定預金	北國銀行定期預金 外	347,518,000
移行時特別積立預金	北國銀行定期預金 外	294,018,230
その他の積立預金	施設整備等積立預金 外	233,325,000
その他の固定資産	壁面パネル	5,300,000
	その他の固定資産合計	1,184,857,782
	固定資産合計	7,558,122,496
	資産合計	9,881,819,002
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	3月光熱水費 外	177,694,485
預り金	3月分源泉所得税 外	19,295,414
前受金	利用者負担金	288,500
賞与引当金		92,289,000
	流動負債合計	289,567,399
2 固定負債		
設備資金借入金	独立行政法人福祉医療機構 外5件	549,170,000
退職給与引当金		8,108,507
	固定負債合計	557,278,507
	負債合計	846,845,906
	差引純財産	9,034,973,096